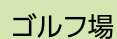


天白歴史探検

竹の^{みち}径・桜の道コース

天白区北東の散策



西側一帯が尾張藩の御林山
だった。三と七の日に川原さん
が見廻りに来るので立ち入るな、
という事で地名となった(伝承)。



天白川沿いの桜並木

散策コース ご案内

①コース
(計約1時間30分)

②コース
(計約2時間15分)

地下鉄植田駅 バス 8分 三七川原 徒歩 1分 牧野ヶ池 緑地竹の径 徒歩 20分 鴻ノ巣歩道橋 徒歩 2分

②番のりば 星丘12系統

鴻ノ巣古窯跡 徒歩 2分 平田院 徒歩 15分 植田中央公園(御小納戸池) 徒歩 25分 塔の前古碑 徒歩 6分 岩崎道 徒歩 10分 地下鉄植田駅

桜並木 桜並木

(★まで①コースと共通)

★ 徒歩 7分 天白川堤右岸 徒歩 13分 音聞橋 徒歩 20分 地下鉄原駅

桜並木 桜並木 天白川左岸 桜並木

所要時間は分速50m(ゆっくりめで歩く速さ)で表示しています。
バスは地下鉄植田駅2番のりば、星丘12系統星ヶ丘行きです。

所要時間は分速50m(ゆっくりめで歩く速さ)で表示しています。
バスは地下鉄植田駅2番のりば、星丘12系統星ヶ丘行きです。

① 牧野ヶ池緑地・竹の径

愛知県営の都市公園（広域公園）。牧野ヶ池（周囲約3km）、ゴルフ場、野球場、児童園が整備されている。

緑地公園の多くは名東区だが、一部は天白区で、竹の径は殆どが天白区内にある。竹の葉の間から光が差し込む時間帯の散策がお勧め。牧野ヶ池は江戸時代1646年（正保3年）に灌漑用に作られた溜め池。市内最大で、面積は約23ha。

尾張藩郡奉行・勝野太郎左衛門の開削と言われている。

② 古窯跡（消滅）

天白鴻ノ巣古窯の跡があったが、今は、消滅している。出土品は、以下のもの。

【手付き瓶・耳皿・小瓶・段皿・椀皿】等。

出土品の一部は、荒木集成館（天白区中平）に収蔵されている。

③ 平田院 高濱山 浄土宗鎮西派

創建：三河国（年代は不詳）

本尊：阿弥陀如来

沿革：尾張徳川家初代藩主・徳川義直もりやくの傳役で、付家老であった平岩主計頭親吉の菩提寺。親吉は、名古屋城築城中の1611年に二の丸にて死亡。

寺名は、親吉の戒名「平田院殿越翁休岳大居士」によるもの。江戸時代に、「平田院」があった場所が、平田町（東区）という地名になった。現在地には、1990年（平成2年）に移転。

④ 植田中央公園

御小納戸池（通称新池）を埋め立てて出来た公園。御小納戸池は江戸時代尾張藩10代藩主徳川斉朝の時、藩有地の谷に現南区の道德前新田を開くために灌漑用として作られたと言われている。

現在は豪雨時の貯水施設となるように低地となっており、普段はグラウンドとして使用されている。広さは約1.82ha。

⑤ 桜の道

桜の時期には、植田中北交差点から長原交差点の間が文字通り桜のトンネルとなる。

桜を見ながら南下し、飯田街道を横切って突き当たりの天白川の土手もみごとな桜並木がある。これらの桜並木は、植田地区の大工事であった土地区画整理事業の一環として桜（ソメイヨシノ）が植樹された。

⑥ 権現山（一部消滅）

宅地開発で切り崩されてしまったが、元は、標高88mの山であった。松が多く、所々に泉が湧きモウセンゴケが生え、アカハライモリなども生息していた。

現在は山の一部に愛知県立天白高等学校があり、校章下部に権現山がデザインされている。



天白高等学校校章

⑦ 塔の前古碑（植田墓苑内）

植田・塔の前で発掘された。宝篋印塔と五輪塔が十数基あったが一部しか残っていない。時代は室町から戦国のものと思われる、植田城主の横地氏の出身地である遠州に似たものがあることから、横地氏ゆかりのものではないかと考えられている。

⑧ 岩崎道（梅森道）

飯田街道（駿河街道）が通る前は、この道が東西へのメイン通路だった。東は日進市の岩崎方面へ通じ、西は瑞穂区の中根方面に通じる。戦前、中学校に進学した生徒は、この道を通って香久山や弥富の学校に通った。



⑨ 飯田街道

江戸時代は駿河街道と呼ばれ、徳川家康の命により岡崎方面から名古屋へ迅速に兵を進めるために、いわば軍用道路として作られた。東海道の岡崎・矢作川の西側、宇頭から名古屋城下へ通された。その際、豊田市の堤と天白区の平針が宿場として整備された。平和な時代となり軍用の役目を終えると、平針から分岐した街道が北三河や信州・伊那方面とつながる物流や信仰の要路となり、明治時代から飯田街道と通称されるようになった。

⑩ 天白川

日進市米野木町の三ヶ峰上池付近を源流とし、名古屋港に注ぐ流長22.7kmの二級河川。天白川の名称は、下流に祀られている「天白社」による。天白神は三重県、愛知県、長野県、静岡県西部に広く分布し、河川の暴流を防いで田畑を守る、または海道を行く旅人を守る神と言われている。近代以前は三本木川・米野木川とも呼ばれ水害が多発し、流路が幾度もかわっている。昔は鮎の遡上もあったが、川の水質が悪化した時期もあった。近年は水質の改善も進み、魚や野鳥の姿も増えてきた。ただし、外来魚の繁殖も多い。音聞橋の下には魚道が設けられている。兩岸の緑道や散歩道が整備されていて、四季を通じて楽しめる。

バスの運行時刻、乗車経路、のりばなどのご不明な点は市バス・地下鉄テレホンセンターへお問い合わせください。

電話 052-522-0111

営業時間 午前8:00～午後7:00（年中無休）

FAX 052-951-3344

時刻表は右のQRコードからも確認できます。

携帯サイト スマホサイト



〈企画・作成〉

天白ガイドボランティア歴遊会（青山・安藤・伊藤・小島・下嶋）

〈監修〉黒川 光雄

〈発行〉天白区役所

〈初版〉平成31年3月